

題材名 「クリーン作戦で快適に」

(第6学年 B 衣食住の生活)

■ 本事例のポイント

1. 「実際に掃除をする」という目的意識をもって計画を立てられるようにすることで、自分事としてより深く考えられるようにした。
2. 子供が考えを共有し合いながら活動できる環境を整えることで、学習調整を促し、深い学びの実現を目指した。

■ 題材の目標

- ・住まいの清掃の仕方を理解するとともに、適切にできる。
- ・住まいの清掃の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

■ 題材の指導計画（4時間）

第1時

「汚れの種類や原因を調べよう」

- ・住まいの清掃の必要性に気づき、清掃の仕方について問題を見だし、課題を設定する。
- ・場所ごとの汚れの種類や特徴を調べる。

第2時

「汚れに合った掃除をしよう」

- ・汚れやごみの種類、その場所に合った清掃の仕方と用具を考えて計画を立てる。

第3時

「計画にしたがって実際に掃除をしよう」

- ・クリーン作戦に沿って、清掃をする。

第4時

「身の回りを快適にしよう」

- ・一連の活動を振り返り、これからの住生活について考える。

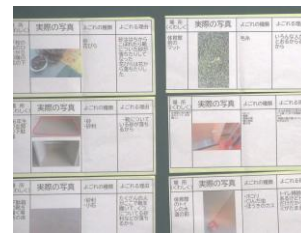
■ 本時の概要

写真を撮影した場所で実際に掃除をしたら…？



めあて：よごれに合った掃除の仕方を考えよう。(クリーン作戦)

前時に撮影した汚れている場所を写真で振り返る。



実際に自分が清掃をしたい場所を選び、思考ツールを使って計画を立てる。



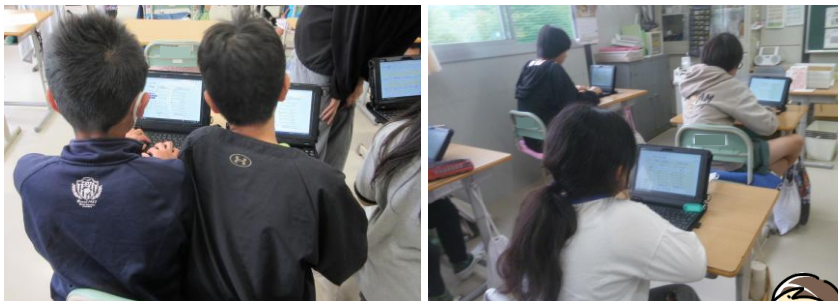
友達と考えを共有し、修正・変更があったら赤字にし再度提出する。(理由を明らかに)



修正・変更の理由を明らかにし、次回、作戦を実行することを確認する。



■ 学習調整をしている子供の姿



自分と同じ考えの人はいるのかなあ？
友達の考えを参考にしたいから見てみよう！



何でこの道具を使って掃除をしたんだろう？
〇〇さんに聞いてみよう。



友達と交流し、他の視点に気付いたので、
付け足しをしました！



■ 指導と評価の工夫

① 思考ツール「フィッシュボーン」を使い、4つの視点に沿って考える

- * 多面的に考えを整理できる。
- * それぞれの視点に沿って考えを整理できる。

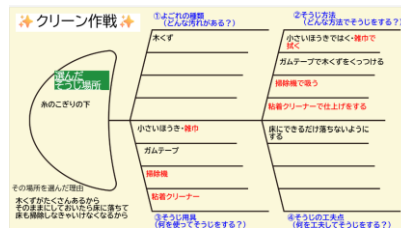


評価
(Aと判断する児童の姿)

自分と友達の考えを比べながら、
根拠をもって様々な解決方法を
考えて「クリーン作戦」を立ててい
る。

② 子供の活動の様子を学習支援ソフトで共有する

- * 他者参照ができ、友達の考えを知ることができる。
- * 悩む子供にとって、学びのヒントとなる。



まずは同じ掃除場
所を選んだ友達の
考えを、見たり聞い
たりしてみよう！



③ 交流から自分のクリーン作戦を振り返る

- * 自分では気付けなかった視点に気付き、改めて自分の作戦を見直し、次へ
つなげることができる。

■ 成果 (○) と課題 (▲)

- 導入の際に「実際に掃除をする」という目的を確認をしたことで、より自
分事として考えることができた。
- 友達との交流を通して、自分にはなかった視点に気付き、付け足しをす
る子供や深く質問する子供の様子が見られた。
- ▲ 子供同士のやり取りの場面がもう少しあると、更に考えが深まった。



← (次時に作戦を実行した様子)

【活用したアプリや機能】ミライシード (オクリンクプラス)